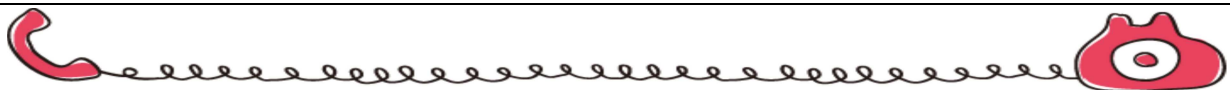




新型コロナウイルス感染拡大の勢いが止まりません。「不要不急の外出を控え、人と人の接触を極力減らしてほしい」といわれても、不要不急の外出などずいぶん前にやめた、これ以上、何をどう用心すればいいのか・・・そんなふうに思う人も多いでしょう。ただ、個人や世代による用心深さのバラつきがあるのも事実。警戒心の目盛りをそれぞれ再点検したいものです。

さて、1月11日は成人の日。20歳が大人と子どもを分ける分岐点として、よいのかどうか議論のあるところですが、みなさんもいずれ成人を迎えます。そしていつかは社会に出て働かなければなりません。大人になるということ、そして働くということに対して、みなさんはどのようなイメージをもっているでしょうか。

2014年12月に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」は、昨年12月に小惑星リュウグウのかけらが入ったカプセルを切り離し、地球に向けて投下しました。はやぶさ2プロジェクトマネジャーの津田雄一さんがこのように書いています。



「大人はすごいことをやっているのです。とんでもないことに挑戦し、おもしろい未来をつくっています。未来には希望があり、大人になることは楽しいことなのです。そう子どもたちに感じてほしいのです。」

昨年、みなさんには職場体験をしていただくはずでした。実際の職場を体験していただき、働くとはどういうものなのかを考えてもらう予定でした。ところが新型コロナウイルス感染拡大のために、やむなく中止せざるを得ませんでした。

働くということはしんどいことです。朝早く出かけていかなければならないこともあります。夜おそくまでがんばらなければなりません。しかしそれでも、何ものにも代えがたい充実感があり、楽しいこともたくさんあります。上記、はやぶさ2のプロジェクトチームは、世界でだれもやったことのない未知の仕事を手探りでやってのけたのです。遠く離れた小惑星からその土を持ち帰るなんて、だれもやったことがないので、何をどうしてよいかわからないことばかりだったでしょう。しかし、そういう仕事に心躍るものを感じませんか。仕事ってそういうものだと思います。やっていて何かしら、ワクワクしたものを感じることはないかと思います。働くということは、おもしろい未来をつくる楽しいものだと・・・

さて、その「はやぶさ2」、今度は別の小惑星に向かっていきます。そして、その小惑星に到着するのは2031年7月だそうです。今から約11年後・・・みなさんが25歳になっているころですね。どんな職業に就いていることでしょうか。そしてどんな大人になっていることでしょうか。どちらも（はやぶさ2も、みなさんも）11年先に楽しみな“何かしらの結果”が待っていることになります。